

令和3年度第1回牛久市男女共同参画審議会議事概要

《公開》

1. 日時 令和3年7月16日(金)午後1時30分から午後2時30分まで
2. 場所 牛久市役所4階第3会議室
3. (出席者)(会長・副会長以下五十音順)(審議員15名のうち11名)
金谷正彦会長、森川志子副会長、青木進委員、岡見清委員、小野寺治子委員、
金井幸雄委員、原口弥生委員、中村康範委員、深山裕見子委員、村武修司委員、
横田守委員
(事務局)小川市民部長、栗山市民部次長兼男女共同参画推進室長、
飯村市民活動課兼男女共同参画推進室課長補佐、市民活動課担当職員尾澤(文責)
4. 議題
(1) 牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画(第3次)令和2年度実施状況報告
(2) 市内・準市内事業所の男女共同参画推進状況アンケート調査報告(令和3年度指名登録業者)
(3) 牛久市男女共同参画に関する市民意識調査準備状況報告
5. 傍聴人の数 なし
6. 審議の内容
(1) 牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画(第3次)令和2年度実施状況報告
事務局から、全177事業のうち、目標値に達した事業(6項目)、主な実施事業について報告。数値目標4、5、6の詳細を補足説明。
<委員からの審議内容>
 - オンラインでの実施などコロナ禍でも工夫して取り組んでいる事業はあるか。
 - ※ 「事業番号145 ボランティア体験講座」に関し、市社会福祉協議会はビデオ会議システム ZOOM の法人アカウントを取得し、はじめてボランティアオンライン講座を開催しました。また、「事業番号162 外国人を対象とした日本語教室の開催」では令和2年度の準備期間を経て令和3年度からオンラインで開催されていることを確認済みです。
 - 「数値目標11 市男性職員の育児休業取得者数」に関し、茨城県庁や茨城大学では積極的な取得を促す取り組みがなされているので参考にし、数値目標の達成に向け引き続き働きかける必要がある。
 - 市社会福祉協議会では、一人ひとりの多様な働き方を尊重し、誰もが働き続けられる職場を目指している。各々週1回は定時で帰るよう働きかけている。
(2) 市内・準市内事業所の男女共同参画推進状況アンケート調査報告(令和3年度指名登録業者)
事務局から、前回調査との変化や男性の育児休業取得者数の増加など主な特徴について説明。
<委員からの審議内容>
 - 隔年で回答事業者は異なるとのことだが、他の業種はどのようなものがあるか。
※例えば、昨年度の回答事業者は、製造業、電気・ガス・水道業、印刷・製本業、卸売・小売業、飲食業、理容・美容業等でした。

- アンケート調査を行うこと自体が事業所に対する啓発活動の一端を担っているとのことだが、引き続き市による啓発が必要である。
- 次回の事業所アンケートの質問項目に、マタハラやパワハラの実態に関することや、出産を機に退社する従業員に関する質問を加えることを検討願いたい。

(3) 牛久市男女共同参画に関する市民意識調査準備状況報告

事務局から、市民意識調査票（案）や調査実施スケジュールについて報告。

<委員からの審議内容>

- 調査票（案）問 7（4）の選択肢⑪「無理な転勤、異動などによって女性を退職に追い込む」に関し、“女性を”を削除するとよい。
- 新型コロナウイルス感染症に関し、新しい生活様式に係る質問項目を追加することを検討するとよい。
- ハラスメントに関しては、セクハラやパワハラに加えてマタハラ等他のハラスメントに関する質問を追加することを検討するとよい。

以上